

～目次～

新年のご挨拶

特定非営利活動団体 東京高次脳機能障害協議会
理事長 細見 みゑ

【1】TKK活動

- ・11/7、1/23 TKK 実践的アプローチ講習会(ZOOM)
- ・2/13 医療及び家族相談会

【2】加盟団体の活動

- ・「みなと高次脳」活動 報告
- ・高次脳機能障害者小金井友の会いちごえ会・・・
 - ・「高次脳機能障害者向けヘルプマーク」についてのご意見をお寄せください！
- ・「クローバー」活動予定

【3】行政、他団体の活動

- ・映画「いのち見つめて」上映のニュース
- ・11/21 品川区・大田区・目黒区3区合同 第11回高次脳機能障害講演会(オンライン)
- ・11/28 港区高次脳機能障害理解促進事業 講演会
- ・令和3年度東京都第2回高次脳機能障害者相談支援研修会
- ・2/4 港区高次脳機能障害理解促進事業 研修会
- ・1/29 北多摩北部圏域 市民交流事業
 - Web 開催になりました！

【4】新規入会団体紹介

- ・一般社団法人 栄福社会

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の案内 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

新年(2022年)のご挨拶

特定非営利活動法人 東京高次脳機能障害協議会(TKK) 理事長 細見 みゑ

新型コロナ感染も3年目となり、そろそろ終息して貰いたいものと願っておりましたが、オミクロン株発生で感染が再び急拡大し、予断を許さない今日この頃でございます。

昨年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、実践的アプローチ講習会やリハビリテーション講習会、研修会等々の、全国から大勢の方々に参加して頂く事業(活動)は、中止せざるを得ませんでした。このような情勢の中、相談事業だけは、緊急

性の相談内容にはタイミングが重要なので、昨年度も本年度も厳密な予防対策のもと続けてまいりました。

2013年度以来継続してまいりました「高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」も、本年度(2021年度)は開催可能か否か、思案に暮れましたが、一般社団法人日本損害保険協会のご助成、東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会及び講師・座長の方々のご尽力、東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科及びTKKスタッフのご協力、東京都及び都身障センター、東社協など機関のご後援により、全国オンライン(Zoom ウェビナー)開催ができることとなりましたこと、大変嬉しく思います。

実践的アプローチ講習会の第1回目は昨年2021年11月7日(日)に、第2回目は本年2022年1月23日(日)に盛会にて終了致しました。北海道から沖縄まで、全国の自治体や医療・福祉・施設・障害者団体の支援者や関係者、ご家族や当事者の方々など、多くの参加者(1回目は約400人、2回目は約360人)の受講を賜り、皆様の熱意に深く感謝致しております。このオンライン(Zoom ウェビナー)開催は、1つの画面を機関・施設関係者、支援者団体やご家族・当事者さん達大勢と一緒に視聴(受講)なさったりしたそうですので、実際にはお申込み以上の参加者(視聴・受講)者であったろうと推測されます。

2007年5月の厚労省通達以来、高次脳機能障害支援普及事業が実施され、理解促進と支援拡充が図られてきておりますが、まだまだ全国隅々に、充分深まっているとは言えず、様々な課題が山積しております。

本障害は見えない障害ゆえに、家族や支援者、地域や医療・福祉・教育関係者などの理解不足が原因で対応を誤り、日常や社会生活で当事者の生き辛さをより深刻化させ、問題解決を阻んでいることが多く見られます。

障害原因を知り、障害内容を理解し、適切な対応・支援をすることにより、どれだけ多くの方々救われることでしょうか。そのためにも、1日も早く、「高次脳機能障害者支援法」が制定されることを、皆様と共に切望してやみません。

さて、本来のTKK事業を継続し、より発展させるべく、様々な方法を駆使して努力していきたいと思っております。本年も、何とぞ宜しくお願い申し上げます。以上、新年最初のご挨拶とさせていただきます。

●<ZOOM ウェビナー 実践的アプローチ講習会> 日本損害保険協会助成リハビリテーション講習会事業

第1回 2021年11月7日(日)

- ・ 渡邊 修氏 [高次脳機能障害のある方の運転再開をどのように支援するか]
- ・ 瀧澤 学氏 [重度の高次脳機能障害のある方に対するソーシャルワークの考え方]
- ・ 小島 秀人氏 [高次脳機能障害者支援法制定へ向けて]

====東京地区のみならず全国からも、多くの方々にご視聴・受講いただき、感謝申し上げます。質疑応答も活発で、大いに役立てて頂いたのではと思います。医療・福祉・行政のお立場から分かり易くご講演頂き、大変勉強になりました。

渡邊 修氏・免許を再取得する手順や、安全運転に必須な要素、運転が難しいと考えられる要因等々、多岐に渡る詳細な内容を時間内にご講演され、新たな多くの知識を得る機会を頂きました。

瀧澤 学氏・高次脳機能障害者の年単位の生活支援や社会復帰支援について。重度高次脳機能障害者について及びその事例。様々な社会制度の活用について等々。実際の支援事例や制度活用事例について詳細にご講演頂きました。実際面で役立つ支援の内容でしたので、非常に有意義でした。

小島 秀人氏・現行法律上、高次脳機能障害と言う言葉を含む法律はなく「高次脳機能障害支援普及事業の実施について」と言う厚労省部長通知に過ぎないこと。高次脳機能障害は、精神保健福祉法の中では器質性精神障害とあるが高次脳機能障害とは規定されていないこと。

高次脳機能障害者支援法制定へ向けての現状分析・目指すものは?・何を盛り込むのか?・参考として今年度可決された医療的ケア児支援法について等々、当支援法構築への多くの具体的な示唆を頂きました。

====TKK 理事長 細見みゑ

第2回 2022年1月23日(日)

- ・ 上田 敬太氏 [原因から考える社会的行動障害]
- ・ 大嶋 伸雄氏 [高次脳機能障害者への認知行動療法 + カウンセリングを用いた生活行為向上アプローチ]
- ・ 山口 加代子氏 [高次脳機能障害のある方への心理的対応~事例を踏まえて]

詳しくは:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&read

====リモート開催第2回も大変充実した内容でした。社会的行動障害への対応は家族のみならず医療・福祉の現場でも対応が難しいと聞いています。焦点となる問題行動を具体的に設定して周囲(本人・家族・専門家)が互いに理解できるよう工夫すること。本人が気づきに出会えるための周囲の気づき。問題を整理して共有など、どの講師の方も具体的なアプローチの大切さを話していらっやいました。更にもっと色々、もっと深く知りたいと思う講習会でした。

==== TKK理事 高井玲子

<2021年度 TKK主催:医療及び家族相談会> 13:30~16:30

2022年2/13 会場:東京慈恵会医科大学付属第三病院 2階会議室(東京都狛江市本町4-11-1)

詳しくは、http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=243

(新型コロナウイルス感染拡大がおさまらない場合、Zoomなどのリモートで相談会を開催する可能性があります。)

【2】加盟団体等の活動

* *

●みなと高次脳当事者会自灯明 活動報告

====コロナ禍ですが、広い部屋で間隔を開けて座り毎月活動を継続しています。

発足昨年6月以降初めの頃は、日頃の課題や聞いてみたいことなどをその月ごとに展開していました。

先月12月から、それをガラリと変えて予め個人に声掛けをしておいて話してもらうようにしました。

理由は、声掛けされた人が話をまとめておくことで一度考えをまとめる体験、皆の前で時間を意識して話をする体験、それが自身の成長になるかもしれないという提案が当事者自身からあったからです。それぞれの自己紹介も2分間という設定でしました。タイマーも購入して「もうじき2分ですよー」という声も掛けもしました。ついつい話が長になってしまう人には、良い体験になると感じました。さて、次回の集まりはどのようになるでしょうか。==== みなと高次脳 代表 高井 玲子

●高次脳機能障害者小金井友の会いちごえ会 Zoomによるオンライン交流会を2021年12月19日に開催

— 「高次脳機能障害者向けヘルプマーク」についてのご意見をお寄せください!

==== コロナの感染状況は下火になりつつありましたが、交流会をリアルで実施するにはまだ懸念もありましたので、1年ぶりとなる交流会をZoomで開催しました。参加者はいちごえ会関係者及び中央大学文学部・緑川研究室の学生さん、計23名です。この中で、緑川研究室の学生さんから提案された缶バッチ形状の「高次脳機能障害者向けヘルプマーク」試作品について意見交換しました。このヘルプマークが考えられた背景、経緯及び具体的な試作品は、当会のHP(<https://ichigoe.org/archives/13264>)に載せていますので、是非缶バッチ形状のヘルプマークをご覧いただき、

info@ichigoe.org 宛にご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。なお中央大学緑川研究室(神経心理研究室)さんには長年にわたって当会の活動を支援いただきますが、高次脳機能障害について熱心に研究されている研究室です。その活動は次の Web でご覧ください。<https://midorikawa-lab.r.chuo-u.ac.jp/> === いちごえ会 三輪敏彦

○クローバー 活動予定

・カフェクローバー(家族や支援者の会) * 今年度は土曜日の開催です。

日時:2/5 3/5 13:00~16:00

お話ししましょう。昼食は済ませて来てください。

参加費:100 円

定員:8 名 申し込みをお願いします。(当日でも可)TEL:(03-3247-3242(山田))

場所:荻窪豊栄ステーションプラザ 407 号室

当日連絡先:TEL 03-6339-7722

・マイカフェ(当事者の会)

日時:1/27 2/25 3/24 いずれも木曜日。15:00~18:00

お話ししたり、ゲーム(パズル、オセロ、以後、将棋)もできます。

定員:8 名 申し込みをお願いします。(当日でも可)TEL:(03-3247-3242(山田))場所:同上

当日連絡先:同上

・家族交流会

日時:2/19(土) 13:30 ~15:30 ・クローバー会 15:45~16:30

場所:杉並障害者福祉会館(高井戸東 4-10-5)

申し込み、問い合わせ:「障害者生活支援課地域生活支援担当」TEL 03-3332-1817

懇談会、相談、意見交換など(事前申し込みが必要です。)家族交流会終了後、引き続きクローバー会を行います。

【3】行政、他団体の活動

* *

●映画「いのち見つめて」の上映についてのニュース

監督:港 健二郎

<メルマガ担当よりの紹介>

1960 年の福岡県大牟田市「三井炭じん爆発事故」で高次脳機能障害に苦しんでいる人々がいます。また、様々なことが原因で高次脳機能障害になった方々と家族の日々の生活と言葉。爆発事故に向き合ってきた人々、そして高次脳機能障害が成立した過程、現状をドキュメンタリーという手法で問い掛けます。

いのち見つめてホームページ:<https://inochikoujinou.wixsite.com/inochi>

●品川区・大田区・目黒区3区合同 第11回高次脳機能障害講演会(オンライン)、11/21(日)午後

・講演:高次脳機能障害との上手なつき合い方、講師 橋本圭司先生

・品川区、大田区、目黒区各家族会の活動紹介:当事者がご自身のこと、会の活動を紹介

主催:品川区高次脳機能障害者と家族の会、フォーラム大田高次脳、目黒区高次脳機能障害者家族会、共催:品川区

後援:品川区社会福祉協議会/昭和大学医学部リハビリテーション医学講座/区南部圏域高次脳機能障害普及事業

(事務局:荏原病院)/区西南部圏域高次脳機能障害普及事業(事務局:玉川病院)/NPO 法人いきいき福祉ネットワークセンター/(株)東京リハビリテーションサービス/医療法人社団雪嶺会東京リハビリ整形外科クリニックおた/品の輪～品川区リハビリテーション・ネットワーク～

[講演会の事務局を務められた 品の輪～品川区リハビリテーション・ネットワーク～代表伊藤滋唯様(理学療法士)からのメッセージ] 品の輪の活動全般の紹介 HP:: https://peraichi.com/landing_pages/view/shinanowa

はじめまして、この度寄稿の機会を頂きました「品の輪～品川区リハビリテーション・ネットワーク～」と申します。

私どもは品川区内に在勤、在住するリハビリテーション専門職^{*}の有志を中心に平成27年より活動をはじめました。

※リハビリテーション専門職:理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士を示します。

活動の目的としましては、品川区内のリハビリテーション専門職の相互連携の強化や情報共有を進め、広く品川区民の皆様に対して、リハビリテーションの啓発や支援等を図り、広く公益に寄与することを目的としております。

主な活動としましては、リハビリテーション専門職対象とした研修会、区民向けの講演会の開催、介護予防・フレイル予防等の自治体事業への協力等を行っておりますが、いま現在はコロナ禍の影響を受け活動がままならない状況にあります。

・高次脳機能障害支援についての思い

医療施設の機能分化や、医療保険制度と介護保険制度の役割分担等のため、いわゆる急性期から回復期、そして生活期とリハビリテーション的支援が引き継がれていく中、障害像が多岐にわたる高次脳機能障害へのリハビリテーション的支援はとて奥が深いものと感じております。おひとりおひとりの生活がより良いものとなるために、私どもリハビリテーション専門職はより一層に学びを深めていかなければならないと思っております。

・今回=11/21の講演会について

今回の三区合同講演会では、受付や事前資料の送信等の窓口業務を担わせていただきました。少なからずの不便があり反省一頻りではありますが、窓口業務をさせていただき感じることは、日々の生活者として、そしてそのご家族として、高次脳機能障害と共に精一杯に生活されているという“リアル”です。参加される方々から預らせていただく「事前の質問」や「事後の感想」に、メール越しではありますが、皆様の“リアル”に触れさせていただく機会をいただき、本当に貴重な学びの場をいただけたと思っております。

・発信したいメッセージ等

私ども品の輪としましては、品川区内のリハビリテーション専門職と様々な事象を共有し、より良いリハビリテーション的支援が提供できるように研鑽を深めて行きたいと思っております。このためにも多くの皆様よりご指導ご鞭撻を賜ればと願っております。まだまだ若輩な品の輪ではありますので、今後とも宜しくお願い致します。

●港区高次脳機能障害理解促進事業 講演会 11/28

講演:小児の高次脳機能障害を取り巻く生活課題> 講師:岩崎也生子氏

主催 : 港区立障害保健福祉センター 共催 : 港区

====高次脳機能障害の子どもの実態調査、日常生活や学校生活場面で観察される特徴、自閉症などの発達障害との違い等を含め、各種調査・著作・論文を引用しながら小児の高次脳機能障害の全般について丁寧に解説されました。

===TKK 理事 矢野久喜

○令和3年度東京都第2回高次脳機能障害者相談支援研修会

高次脳機能障害者の就労支援 ～支援者側、企業側の2つの立場を経験して～

講演:「障害者の就労支援について～支援者側の視点・企業側の視点～」 講師:石川 誠 氏、
「高次脳機能障害者の新規就労や復職の支援に関わって」 講師:中島 吾木可香 氏

WEB 開催(オンデマンド配信)2月25日(金)午前9時から3月6日(日)午後10時まで

300名 先着順、申し込み 令和4年1月17日(月)9時から

問い合わせ先 東京都心身障害者福祉センター高次脳機能障害者支援担当

詳細は: <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shinsho/kojino/seminar02.html>

○令和3年度 港区高次脳機能障害理解促進事業 研修会

より良い学校生活を送るためのアドバイス ～学習や生活にかかわる高次脳機能について～

講師:羽田 拓也 氏 東京慈恵会医科大学附属病院

日時:令和4年2月4日(金)18時30分から20時30分、会場:港区立障害保健福祉センター 6階 多目的体育館

対象:高次脳機能障害の支援者、教育現場で働いている方、当事者や家族、その他関心のある方

先着:70名 ※手話通訳あり ※一時保育あり(先着2名)、参加費無料

申込締め切り:令和4年1月28日(金)

申込先: TEL03-5472-3710(みなとコール) am9:00～pm5:00

FAX03-5439-2514(港区立障害保健福祉センター)

問い合わせ先 : 港区立障害保健福祉センター 03-5439-2511 高次脳機能障害研修会担当者あて

詳細は: http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=236

○北多摩北部圏域 市民交流事業 (清瀬市、小平市、西東京市、東久留米市、東村山市)

Web 開催になりました!

本年1月29日(土曜日)午後16時にコール田無で予定しておりましたが、本事業の対面開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見送ることとなりました

第1部 講師 : 上田 敏 (元東京大学医学部 教授)

第2部 「当事者の声」

日時：令和4年1月29日(土)午後2時30分から5時30分、WEB開催

問い合わせ先：国立病院機構 東京病院

東久留米市障害福祉課 042-470-7747

<https://www.city.higashikurume.lg.jp/kurashi/fukushi/shogai/1015413.html>

【4】 新入会団体紹介

* *

昨年12月に加盟された栄福社会様をご紹介します。

一般社団法人 栄福社会 HP: <http://sakaefukushi.jp/>

■理事 多辺田昌寿さまからのメッセージ

【法人概要】

栄福社会は、2012年より立川市栄町にて、働き盛り世代にも関わらず中途障害(身体・高次脳機能障害)でお悩みの方々の活躍の場として、就労継続支援B型キッチンさかえはスタートいたしました。2016年に就労移行支援ソレイユが開設され、より就職活動がしやすい体制が整いました。

【活動内容・事業紹介】

キッチンさかえでは、併設する介護保険法のデイサービスに食事提供できる厨房を持ち、食器洗浄や調理補助もおこなえます。またレストラン接客や雑貨販売、事務補助練習などもできます。キッチンさかえで十分にトレーニングされた方は、ソレイユに移籍されて、本格的な就職活動に入っています。

【入会の動機】

身体障害・高次脳機能障害でお悩みの方々に当会を知っていただくことや各事業所との情報共有のために入会を希望しました。

【TKKに望むこと】

高次脳機能障害について、企業や一般の方々にご理解いただける活動を続けていただきたいと思います。

以上